

シヨベルカー

おんだ しほ 札幌市立南の沢小学校 (1年)

北海道教育美術展奨励賞作品

評 シヨベルカーの大きな車体をがめんいっぱい、しっかりとかがかれています。土をほる音もきこえてくるようなえです。

目次

新しい指導観に期待する……………2

函館大会研究主題について……………3

函館大会案内……………4・5

私の実践-発想の木を育てよう! ……6

第19回北海道教育美術展によせて……………7

サクラクレパス・あとがき……………8

北海道 造形教育 連盟報

No. 91 1992.6.20 発行

発行 北海道造形教育連盟

事務局 〒065 札幌市東区北46条東13丁目1番地

札幌市立栄東小学校 鹿嶋 健

☎011-753-2670

新しい指導観に期待する

一心からの感謝をこめて一



北海道造形教育連盟委員長

佐々木 理 温

(札幌市立三角山小学校長)

ようやく桜前線が津軽海峡を越え函館での開花を耳にした4月29日(みどりの日)、昨年度と同じ札幌市三川屋会館で平成4年度地区委員総会が開催されました。その席上で引き続き本年度も委員長として推挙いただき身の締まる思いであります。幸い釧路地区より新任の稲船副委員長の他は、役員全員が再任されたいへん心強く思っていますが、これまで以上に皆様からのご支援をお願いいたします。

早いもので、1年前は第41回札幌大会を目前に控え、大会責任者と会場校校長双方の立場の使い分けに当惑しながら、毎日が溜息の連続であったことが思い出されます。終わってみると、組織の運営や当日の流れに未だしの感もなかったわけではありませんが、「今、授業はかわる」を合いことばに新学習指導要領の内容解釈を土台にした展開は、参会の皆様にも大きな刺激となったのではないかと考えております。

指導の変革を打ち出した美術館を直接授業会場とした鑑賞を含む13の公開授業、中学校の特設を加えた14分科会、会場全体を造形広場としたクリエイティブプラザ等の運営担当者の努力には、特に敬意を表したいところです。また、会場校の子ども達全員による歓迎セレモニーにもたくさんの感動的なことばを寄せていただき、私を含む会場校全職員のこれまでの労苦が報われた思いがいたしました。心からの感謝を申し上げます。これ等第41回札幌大会の成果や残された課題が、

第42回函館大会をはじめ以降の大会へも引き継いでいくことができますよう関係の皆様のご理解を期待しております。

さて、本年度から新学習指導要領による新教育課程が小学校を先発として全面実施期に入ると共に、学校週5日制の段階的導入も現実のものとなりました。「新しい学力観に立つ教育」と「子ども一人一人のよさを生かす教育」という学校教育の新しい実践化の視点は、造形教育にとっても重要な課題であることは間違いのないと思われます。

現在ほど、何を描くか、何を作るかという造形の基本的な命題の把握が困難な時代はありません。子どもを取り巻く生活環境の変化が、生活経験を通して子どもの感性の深め方を不透明なものにしています。今や色や形で楽しく遊ぶという気楽な子どもの意識は、漫画、映像、イラスト等のとめどない生活文化と簡単に結びついています。その安易さへの問題は別にして、遊び心に満ち満ちているこれ等の表現や活動に、造形教育そのものが具体的な課題をつきつけられていると考えられます。改めて多様化する価値観、教育観の中で、素直に子どもを見られる柔軟な目と指導観が望まれるところです。

最後に、本連盟活動の中核を占める研究大会は、本年度第42回函館大会として大会主題「感動、そして創造する喜びを」、会場は珍らしく中学校となった深堀中での開催です。また、明年度第43回旭川大会も早々に大会主題「思いをあたため、心はずませ、創る喜びを」、会場を東五条小と決定していただきました。さらに、本年度地区委員総会時に明後年(平成6年度)第44回大会の開催地が釧路市と決定されました。各大会開催地サークルの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

それでは、この夏7月28・29日に造形の仲間を誘い合い道南の地函館でお会いしましょう。

平成4年度 役員及び部長

委員長 佐々木理温 札幌 三角山小長
副委員長 田邊 康夫 函館 大川中長
〃 庄 栄一 月形 知来乙小長
〃 川島 信也 旭川 東光小長
〃 稲船 正男 標茶 中茶安別小中長
監査 寺本 吉明 中札内 中札内中長
〃 山宮 喬也 留辺蘂 留辺蘂小長
事務局長 鹿嶋 健 札幌 栄東小長

事務局次長 船着 昭弘 札幌 開成小長
〃 村谷 利一 札幌 北栄小
〃 土岐 禎次 札幌 札幌北高
会計部長 白井 罔毅 札幌 藤野小長
庶務部長 佐藤 靖 札幌 三角山小
広報部長 毛馬内國夫 札幌 桑園小
研究部長 富田 泰 札幌 伏見小
事業部長 藤井 正治 札幌 創成小

函館大会研究主題について

研究主題『感動、そして創造する喜びを』

一人一人が持ち味を生かして、生き生きと表現する子



函館大会研究部長
函館市立戸倉中学校
越田 喜 忠

◆はじめに

今日、無気力・無感動の子ども、また、自ら考え判断する能力に乏しく、個性のない同型人間が増えつつあると言われてしています。

具体的には、幅広い知識に富み、種々の能力に優れた好きな事には意欲的に取り組むが、表現活動では、驚きや感動が少なく、集中力、持続性に乏しい。また、抵抗のあるものを嫌い、深く追求する態度に欠け、表現力に乏しい。作品に素直に感動することや、物・作品を大切に作る心構えに欠ける、等々が指摘されています。そして…

これらは、今日の高度成長、高学歴社会を反映し、表面化して来たと言われる受験競争、記憶中心主義の弊害と考えられています。

函館では、これらの指摘・反省をもとに、数年前から、一人一人の活発で内面的な思考活動を大切に、驚きや好奇心を喚起することが意欲的に取り組むことにつながり、また、描く・つくるといった一連の造形活動を通して、材料や条件と相対し困難を克服する中で、一人一人が個性に応じ自己表現していくところに、この教科の特質があると考え、「意欲的に学習に取り組ませ、一人一人を伸ばす指導のあり方」を実践課題として取り組んできました。

今大会を、これまでの実践を基に、後述の視点を踏まえ、毎日の授業を通し、一つ一つ改善して行く、再出発の場としたいものです。

◆転換期を迎えて

今回の学習指要領改訂の基本的なねらいとして「個性を生かす教育」の充実が上げられています。

これは、学校における全教育活動を通じて、一人一人の個性を育て、生かすことを重視するものです。

美術教育も創設当初から個性尊重の重要性を訴え、個を相手とし、個性的な表現を大切にしてきました。

しかし、連盟主題、札幌大会主題でも述べられているように、個性の大切さを旨としながらも、必ずしもそうではなかったと思います。

反省点として、教師の思いで表現させたり、造形的な発達特性を無視し高度な表現を求めたり、指導プロセスよりも結果を、作品を重視した指導をしてきてしまった等があげられます。

これらのことを、謙虚に受けとめ、十分反省し、個性を真に生かし、育てるための工夫・改善を加えたいものです。

◆二つの視点から

◎教材開発の視点から

- 子どもの実態、造形的発達特性を考慮し、しかも、子どもが楽しんで取り組み、学習意欲を高め得る題材の工夫

(子どもが主体的に学習するためには楽しさが学習に求められます。教師は興味・関心のもてる学習素材の教材化の工夫が必要です。)

- 多様な学習形態に対応できる、幅広い複合された題材の工夫

(安易な教材は避け、個々の子どもが収集して来た素材を工夫し生かせるような、また、子どもの学習に預け得る選択の幅の広い題材を工夫することが必要です。)

◎授業改善の視点から

- 学習プロセスの工夫

(主体的に表現活動をする。ということは結果よりも、話す、動作に表す、操作する等の活動を大事にする事ではないでしょうか。)

- 子どもの良さを深く理解し、援助する工夫

(教師は、子ども一人一人の成長を見守り、個々の能力や個性を引き出し、育てる援助者でなければなりません。一時間の授業の中の、どこで、どう援助するかも工夫したいものです。)

以上、難しい面も多々ありますが、一つ一つ着実に取り組んで行きたいと考えております。

よろしくご指導下さい。

第42回全道造形教育研究大会

函館大会



函館大会シンボルマーク

大会主題

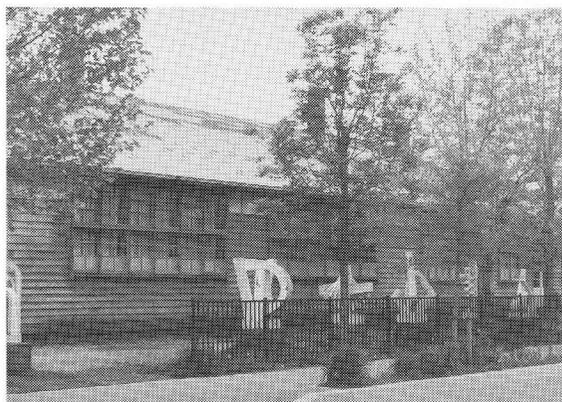
「感動、そして 創造する喜びを」
一人一人が持ち味を生かして、生き生きと表現する子

会期

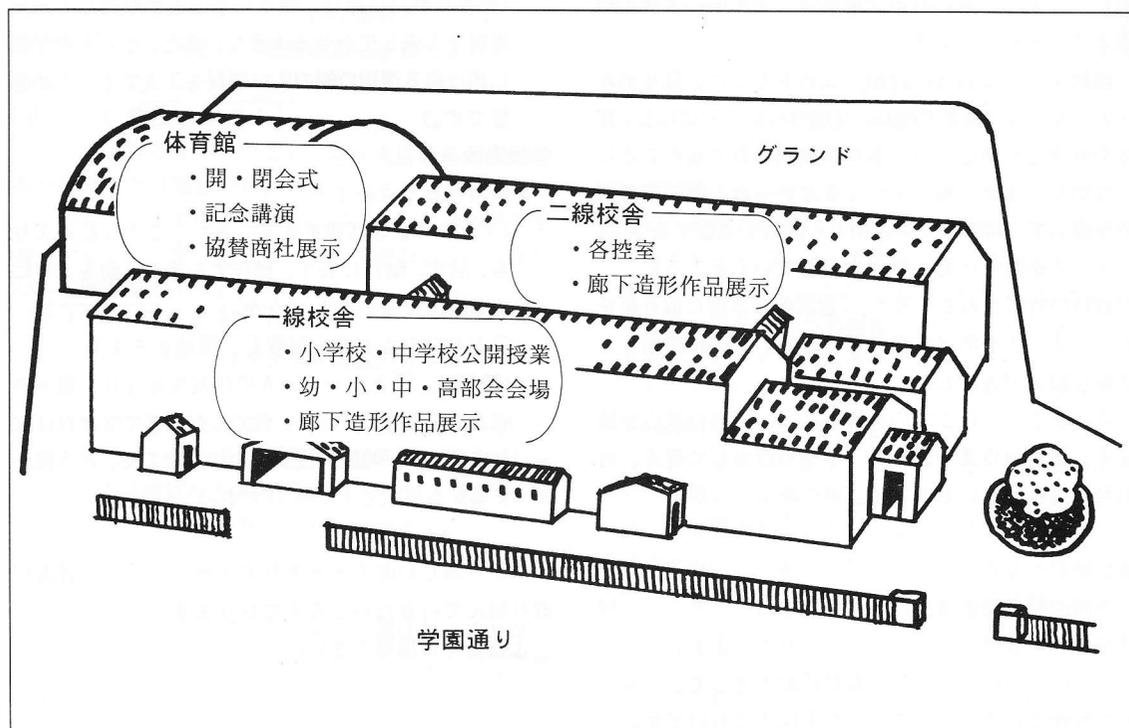
平成4年7月28日(火)、29日(水)

会場

主会場 函館市立深堀中学校
幼稚園公開保育会場 函館市立日吉幼稚園



■会場校 函館市立深堀中学校

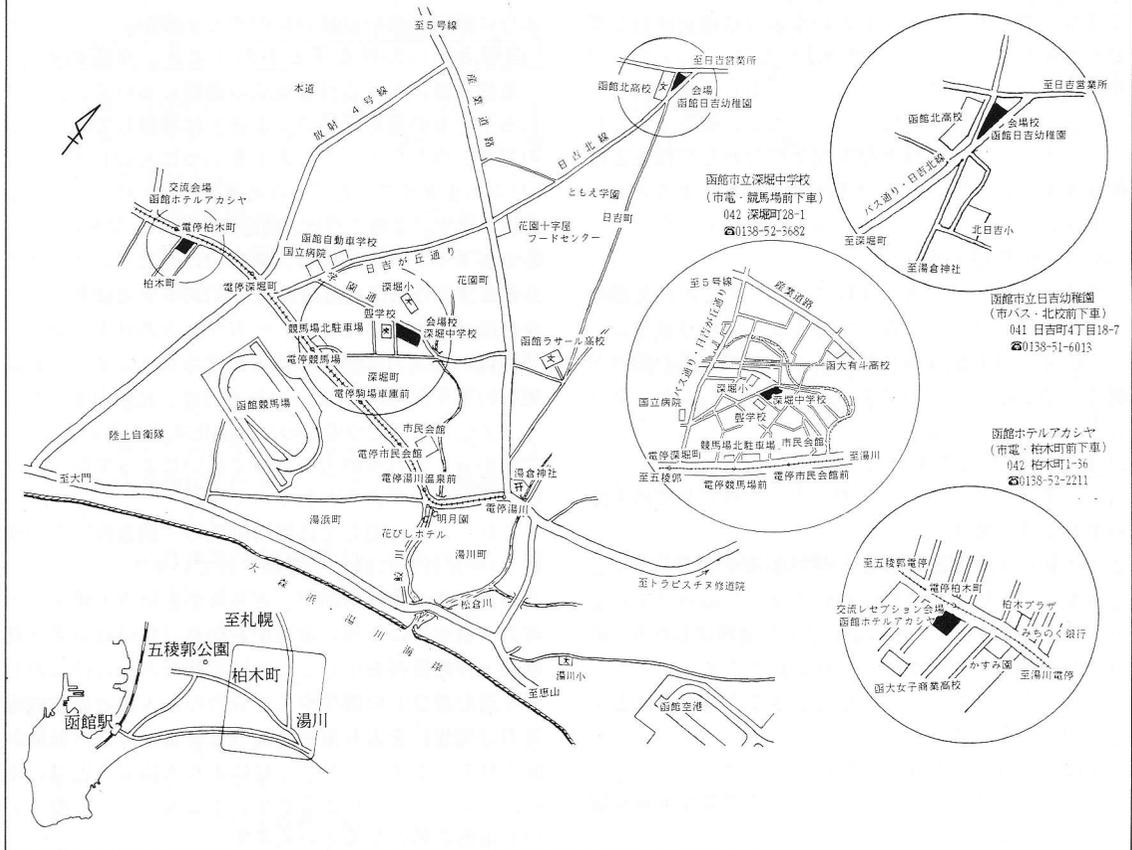




■ 公開保育会場 函館市立日吉幼稚園

大会一日目の幼稚園部会受付と公開保育会場です。
市営バス日吉営業所行き北高前下車、駐車場はありません。

会場周辺マップ



私の実践— 発想の木を育てよう！



北海道教育大学附属札幌小学校
阿部 宏行

活動が連続する単元構成

「先生！今日の図工おもしろかったあ。今度はいつするの？」と授業が終わって私のまわりを子どもたちが取り囲む…こんな授業がいつもできたらいいなあと思いつながら実践しています。

そのためのいくつかの授業の要件を考慮しています。

- ①教材が子どもの側にあること
- ②その教材には造形的な価値がそこに内在していること。この二つの教材化の視点を大切にしています。さらにその教材は子どもの発想力を広げる内容を持つものであり、個々の思いを保障する授業構成であることも考慮しています。

具体的には追求する視点が、授業を通して連続していくことを考えています。

これは、発想の種を一粒蒔いて、「もし、こうしたら、こうなっておもしろい！」というように種が成長して芽を吹き出すように、『発想の水』（「もし、こうしたら」）をあげていくことです。ですから「もし、半分にしたら…」「もし、紐をつけたら…」「もし、逆さまにしたら…」というように様々な方向に枝分れして枝を広げ伸ばすように、大きな“発想の木”を育てようというのです。

遊び心が感性を磨く！

すると、ひとりの人の頭脳には、たくさんの発想の木が集まった『発想の森』があることになります。

この発想の木を成長させるには、まず教師の感性を磨く「遊び心」が大切です。この「遊び心」が「学び心」に通じるのです。

「もし、こうしたら…」

たとえば、「牛乳パック」をひとつの種にして考えてみましょう。まず、

- ①「牛乳パックでどんなことができるかな？」と子どもに委ねて、いろいろな試みをさせるのもいいでしょう。子どもは硬貨の入る穴を開けて貯金箱にしたり、組み合わせてロケットを作ったり始めます。

これを単元のスタートにして、さてさて、次にどんな発想が生まれるでしょう。

- ②次は、どうせ穴を開けるのなら、開けた穴にカラーセロファンを貼って、箱の中に光の不思議な世界を展開するのも楽しいものです。

③二つのパックを合わせれば、変わり絵の台となって立体絵本のできあがりです。

④つなげて延ばすとジェット・コースターのコースになります。乗り物はボールや自動車のような形にしてもいいですし、輪を利用したものでもできそうです。

⑤次に、たくさん集めた牛乳パックをガムテープでつないで椅子やボート、怪獣などをつくってみるのも楽しいものです。

⑥そして、小さくちぎって水と混ぜ、ミキサーにかけドロドロにします。紙漉きのように再び延ばして再生紙にします。再生紙になれば、そこに絵も描けます。

⑦また、他に牛乳パックを集めているお店にもって行くのもいいし、このリサイクルをノートにまとめれば、環境問題への発展も考えられますから、総合的な学習へと展開できます。このように単元（題材）の連続させ、既存の経験が次に生きるような構成にすることが大切なのです。

図工における意欲の評価

子ども中心の教育の転換が図られ、指導内容も充実してきましたが、こと「評価」に至ってはまだ「作品重視」の考え方から抜け出せないように感じます。

「意欲」重視の教育観において、図工では意欲をどのように評価していけばいいのでしょうか。

造形活動における子どもの「よさ」を認める

造形活動における目標達成の過程において、発揮される子どもの造形活動の「よさ」に着目して評価するのです。今このよさをおおよそ二つに大別してみると「ひらめきタイプ」と「積みあげタイプ」に分けられると思います。この二つは、創造性の観点からみると「ひらめきタイプ」の特徴は、発想力に優れていると考えられます。これは拡散的思考力（DT）とよばれイメージを広げる力といえます。一方「積みあげタイプ」の特徴は、構想力に優れていると考えられます。これは集中的思考力（CT）といわれる力で、発想力で広がったイメージをひとつのものに具現化する力といえます。ですから、これらの力の発揮ぐあいによって個々の異なる態度としてあらわれるのです。

これらの力に関しては恩田彰氏の「創造性開発の研究」（恒星社）に詳しく掲載されています。

これまでの造形活動が、どちらかというも集中的思考力（構想）に指導の重点がおかれ、ていねいさ・計画性・技能獲得を中心とした指導観であったのに対して「造形遊び」の誕生や工作分野の拡大など拡散的思考力（発想）をより重視しようとする指導観の転換が図られています。しかし、なにより大切なことは、そのバランスをいかにとるかが、子どもにとっての「よい」造形活動となるといえます。

北海道教育美術展について

北海道造形教育連盟 事務局次長

船着昭弘

(札幌市立開成小学校長)

子供たちの教育、特に造形教育に強い関心を寄せられている多くの方々のご理解とご協力をいただき、当造形教育連盟が主催する北海道教育美術展も、本年度は第19回目を迎えます。この美術展は、全道の保育所・幼稚園・小学校・中学校の子供たちを対象に実施されているものですが、毎回、約250校、応募総数約15,000点もの作品が寄せられる道内最大規模のものです。

近年、多くの団体や企業などが催しているいわゆる絵画コンクールは数多くみられますが、この北海道教育美術展は、「教育」に焦点を当てているところに、他のコンクールとの違いをもっています。

造形教育もまた、人間形成の一翼を担っているわけですから、単に高い技術による表現（いわゆる上手な作品）を認めるだけでは、一面的にすぎます。子供たちが、これからの社会の変化に対応し、心豊かにたくましく、しかも主体的に生きていくことができるようにする観点が求められます。

すなわち、子供たちが生涯にわたって、自ら学ぶ意欲とともに、人間としての生き方について自分の考えをもっていなければなりません。この意味でいうなら、いろいろなものに興味や関心をもって進んでかかわり、自分の心身にわたるよさ、様々な可能性などを十分に発揮しながら、見たり、考えたり、表現したりして、自分のことが次第に分かってくるとともに、自分の考え、夢や希望をもって生きようとする意欲や態度が、作品の中にあふれていて欲しいと願うのです。

したがって、個性重視も、多様性も、基礎基本も、このような考え方の上に立ってみつめながら、造形教育のもつ特性を生かして、思いのままに表現する教材を整え、評価を工夫し、学ぶことを援助する指導観を深めつつ、人間としての豊かな生き方について、子供一人一人の考え方が育つようにする「北海道教育美術展」でありたいと願っています。

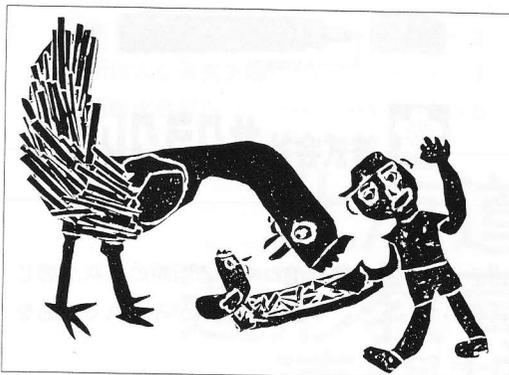
第19回北海道教育美術展のご案内

「北海道教育美術展」は、第19回展を迎えることとなりました。

作品の質の向上をめざすと共に、参加校が増えることを願いながら企画・運営に当たってまいりましたが、昨年は、11,576点、235校の参加を見ることができ、連盟の趣旨が、全道各地に広がりつつあることを感じております。

平成4年度、第19回北海道教育美術展の日程は下記のように決定いたしました。冬には、子どもの思いがあふれた作品に出会うことを楽しみにしております。

昨年を上回る参加を期待します。



- ・会期 平成5年1月14日(木)～19日(火)
 - ・会場 札幌駅前さっぽろ東急百貨店10階
 - ・表彰式 平成5年1月15日(金)午後1時より
札幌駅前さっぽろ東急百貨店10階
 - ・審査日 平成4年12月26日(土)・27日(日)
 - ・締切日 平成4年12月16日(水)
 - ・送付先 〒060 札幌市中央区宮の森4条11丁目4-1
札幌市立三角山小学校内
北海道教育美術展係 宛
- *問合せ 札幌市立三角山小学校 熊谷悦代 011-643-1133

サクラ ニューカラー



用途

共同制作、屋外展示作品、パネル、看板
店頭広告、舞台装飾、室内装飾 etc.

特長

サクラニューカラーは、水溶性樹脂(アクリルエマルジョン)配合の木や布・石・金属・プラスチック・発泡スチロールと幅広い対象物に使用できる新しいタイプの絵の具です。

新発売

色名	ETPW#	価格
しろ	ETPW# 50	1,100円
きいろ	ETPW# 3	1,100円
あか	ETPW# 18	1,300円
みどり	ETPW# 28	1,300円
あお	ETPW# 36	1,100円
くろ	ETPW# 49	1,300円
やまぶきいろ	ETPW# 4	1,100円
ちやいろ	ETPW# 12	1,100円
しゅいろ	ETPW# 18	1,300円
せりふブルー	ETPW# 25	1,100円
きみどり	ETPW# 27	1,100円
あかむらさき	ETPW#124	1,500円
だいだいいろ	ETPW# 5	1,300円
はだいろ	ETPW# 7	1,100円
おうどいろ	ETPW# 15	1,100円
ピンク	ETPW# 20	1,300円
ふかみどり	ETPW# 30	1,300円
ぐんじょういろ	ETPW# 38	1,300円
しもいろ	ETPW# 2	1,100円
こげちや	ETPW# 17	1,100円
むらさき	ETPW# 24	1,300円
あいいろ	ETPW# 43	1,100円
ローズ	ETPW#120	1,300円
もらいろ	ETPW#125	1,100円
オペラレッド	ETPW#121	1,500円

サクラ ピグマックス ペイントマーカー ツイン8色セット 中字8色セット

コンパクトな8色セットケース (ミシン目入りのフタですので、切り取って使うこともできます。)



ツイン8色セット

150×95×49%



中字8色セット

130×82×42%

水性+顔料+不透明調
マーカー

入組配色



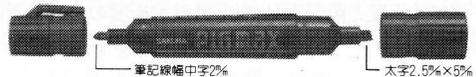
特長

- いやな臭いがしません。
- 紙に書いたとき、裏うつりにじみがありません。
- 書く前に振ったり、ブッシュしたりする必要がありません。
- 金属・プラスチック・ガラス・木・発泡スチロールにも書けます。
- 黒い面・色つき面にも発色します。
- 耐水性・耐光性にすぐれています。
- 空気孔つきキャップ(小キャップ側)を採用しています。

用途

- 図画工作・造形表現に
- ポスター・グラフ・POPの作成に
- 学園祭・運動会の看板書きに
- 持ち物の名前書きに

(ツイン) 単品……1本200円



(中 字) 単品……1本150円



株式会社 サクラクレパス

あとがき

子どもたち一人一人の内面からわきおこる表現意欲をひき出そうと実践を積み重ねている函館の息吹が感じられる便りが届きました。たくさんの仲間をさそって函館に集みましょう。子どもの輝きが見られる作品をもって来てくれることを函館では待ち望んでいるのです。

稲實 順 (八軒西小) 植木則子 (桑園小) 島 界二 (札苗小) 高橋歳仁 (厚別中) 毛馬内國夫 (桑園小)